数唱（順唱・逆唱）

01 実施前の確認と課題の理解

本資料はNACC UDSv4 Number Spanの方法を参照した日本語解説と独自記録欄です。公式日本語版・標準化検査用紙ではありません。正式数字列と逐語教示は未収録です。使用許諾と使用言語を確認し、正規資料と併用してください。



実施方法の独自説明図。数字は仕組みを説明する例で、正式刺激・練習項目ではありません。

何を測るか・誰が答えるか

本人が耳で聞いた数字を口頭で再生する個別の実技課題です。順唱は短時間の保持、逆唱は保持に加えた順序の操作をみます。検者が提示・反応記録・採点を担当します。家族は本人の代わりに答えません。

準備と実施の流れ

① 正式版と目的を確認：CAT-R・WAIS-IV・NACCを混在させず、使用版・言語・教示・中止基準を確かめます。

② 条件を整える：静かな場所、安定した座位、聞き取れる声量。普段の補聴器、覚醒、疲労、失語・構音の状態を記録します。正規用紙と筆記具は検者側に置きます。

③ 原資料の練習で理解を確認：順唱と逆唱を別々に説明します。本紙の説明例を正式な練習に追加しません。

④ 正式数字列を規定順に提示：検者が言い終えた後、本人が回答します。数字を見せる、書かせる、並べ替えカードを使うなどの変更は、同一条件の数唱として扱いません。

提示速度・読み方・再提示・自己修正の扱いは使用版で確認。NACCの数唱該当節に具体的な秒数指定は確認できないため、独自の「1秒1数字」を公式必須条件として加えていません。
原資料の案内：https://docs.naccdata.org/edc/downloads/udsv4

許諾窓口：https://www.naccdata.org/request-nacc-forms

採点・中止・評価不成立の確認

02 NACC UDSv4の原則を参照する場合

確認すること	原則
課題の範囲	順唱3〜9桁／逆唱2〜8桁。各桁2試行、各課題は最大14試行。
1試行の採点	課題が求める順序で数字列全体を正しく答えれば1、誤りは0。途中までの正答に部分点を追加しない。
中止	同じ桁数の2試行をともに誤ったところで、その課題を終了。最初の誤答だけで終了しない。
集計	順唱・逆唱ごとに正答試行数と最長正答桁数を別々に記録。両課題を合わせた独自総点は作らない。

数値範囲：正答試行数は各0〜14。最長桁数は順唱0または3〜9、逆唱0または2〜8。完遂したが全て誤答の場合と、検査が成立しない場合を分けます。

見落としやすい逆唱の例外

最初の2試行のいずれかで順唱してしまった場合、逆順で答えるという指示の確認を1回だけ行えます。数字列は読み直しません。その後、正しい逆順を答えれば正答です。これ以外の試行で順唱した反応は誤答です。確認を行った試行と反応を記録します。

誤答・中止と「未完遂」を混同しない

正式な中止基準に達して終了した結果は採点します。聴力・発語・理解・中断等により検査を完遂できない場合は、途中の成績を完遂得点にしません。NACCでは正答試行数欄に理由コードを記入し、最長桁数欄を空欄にします。

NACCの理由：95＝身体的問題、96＝認知・行動上の問題、97＝その他、98＝口頭での拒否。複数理由では最小番号を選択。これらは点数ではなく、他検査へ流用しません。

資料の位置づけ・正式資料の入手先

逐語教示・練習数字列・本試行数字列は再配布せず、下記の原資料を参照します。数唱に被検者へ見せる標準刺激図はありません。1ページの図は独自説明図です。NACCの許諾済み日本語版・日本語標準値は今回確認できていません。

原手引き：数唱 pp.33-35、一般原則 p.4

正式ワークシート：順唱 p.11／逆唱 p.12

使用許諾の案内

原課題：Joel Kramer／NACC, University of Washington。原資料に著者許諾のない複製・配布の制限あり。本紙は原用紙の翻訳・複製ではなく、採点の要点を解説した編集資料。独自の欄・説明図はSTROKE LAB編集資料。

順唱｜反応と採点の記録

03 正式数字列を別途使用するための独自記録欄

このページに正式数字列はありません。原用紙と照合して使用し、正規の用紙そのものを置き換えません。日本語で実施する場合の位置づけは1〜2ページを確認してください。

対象者ID：　　評価日：　　年　　月　　日　　時刻：

評価者：　　使用版・言語：

補聴器・姿勢・疲労・聴力・発語・回答補助等：

本人の回答順をそのまま残します。1＝正答、0＝誤答。未実施の行は空欄のまま、理由を末尾へ記録します。

桁数	試行	本人の口頭反応（実際の回答順）	1／0
3桁	1		
3桁	2		
4桁	1		
4桁	2		
5桁	1		
5桁	2		
6桁	1		
6桁	2		
7桁	1		
7桁	2		
8桁	1		
8桁	2		
9桁	1		
9桁	2		

正答試行数：　　／14　　最長正答桁数：　　桁

NACCで未完遂の場合：正答試行数欄には95〜98の該当理由、最長桁数は空欄。
規定の中止基準で終了した場合は未完遂に含めません。

終了した桁・試行／中断・不成立の理由：

観察所見（誤り方、自己修正、聞き返し、疲労、手続きの逸脱）：

逆唱｜反応と採点の記録

04 正式数字列を別途使用するための独自記録欄

このページに正式数字列はありません。原用紙と照合して使用し、正規の用紙そのものを置き換えません。日本語で実施する場合の位置づけは1〜2ページを確認してください。

対象者ID：　　評価日：　　年　　月　　日　　時刻：

評価者：　　使用版・言語：

補聴器・姿勢・疲労・聴力・発語・回答補助等：

逆唱の指示確認（最初の2試行のみ、1回まで）：なし／あり 該当試行：
数字列は再提示しない。指示確認後の反応も記録。

桁数	試行	本人の口頭反応（実際の回答順）	1／0
2桁	1		
2桁	2		
3桁	1		
3桁	2		
4桁	1		
4桁	2		
5桁	1		
5桁	2		
6桁	1		
6桁	2		
7桁	1		
7桁	2		
8桁	1		
8桁	2		

正答試行数：　　／14　　最長正答桁数：　　桁

NACCで未完遂の場合：正答試行数欄には95〜98の該当理由、最長桁数は空欄。
規定の中止基準で終了した場合は未完遂に含めません。

終了した桁・試行／中断・不成立の理由：

観察所見（誤り方、自己修正、聞き返し、疲労、手続きの逸脱）：